2025年
（令和7年）
夏号
Vol.20

枚方市議会議員

奥野みか

すべての人が､｢今｣を輝いて
生きていける社会をつくる

- ●新庁舎･枚方消防署の整備計画の対案をまとめ､枚方市に意見しました！
- ●教えて_整備計画の対案作りで大切にした､私の考え
- ●平時も災害時も有効な､安全･安心の拠点整備～おるたなプラン～ 枚方市役所と枚方消防署_ダブル整備

新庁舎・枚方消防署の整備計画の対案をまとめ、枚方市に意見しました！

皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

私は、自治体行政が果たすべき役割は、住民が安全安心に暮らせるようにすることだと考えています。

老朽建築物の早期解体、市役所新庁舎及び枚方消防署新庁舎の早期建設、そして、大規模災害への備えも含め、枚方市駅周辺の再整備は、「公益」に資することを目指し、一刻も速く、安く、実現可能性の高い方策で確実に推進しなければなりません。

そのためには、現在の市役所庁舎の位置する広大な④街区の市有地に市役所新庁舎を建設する計画への転換が必要です。

6月の議会では、枚方市駅周辺再整備を確実に推進する観点から、市の計画の実現可能性を質しました。詳細はHPをご覧ください。今号では、枚方市役所と枚方消防署のダブル整備の対案を報告します。

伏見市長は、枚方市役所と枚方消防署、この２つを移転建替えする計画を進めようとしていますが、納得のいく説明ができないために議会の賛成を得られず、具体化できない状況が続いています。

そこで私は、市の計画が抱える問題点を解決できる対案プランを専門家の皆さんの協力を得てまとめました。これを市に意見することで、より具体的で建設的な議論と検討が進むことをめざしています。

一般質問のやりとりは左のQRコードから。録画映像は「👆」から。

教えて　整備計画の対案作りで大切にした、私の考え

Q なぜ市役所の建替えが必要なんですか？

市役所庁舎（本館・別館）、もと市民会館本館・大ホール、職員会館などの公共建築物の老朽化が限界状態です。今、大きな地震が発生すると全ての建物が壊れ、災害対応を担わなければならない行政機能がマヒしかねません。市民の生命と暮らしを守るためには、大規模災害に耐えられる新庁舎の建設が急がれます。

Q なぜ、移転建替えに反対なんですか？

市役所を建て替える敷地となる広大な市有地が枚方市駅前にあるのに、わざわざ駅から離れた大阪府用地を費用負担して取得する。市有地については税金を使ってインフラを整備し、民間開発事業者に売り払う。市の財政負担が軽くなる訳でもないこのような市の計画は、市民の財産である市有地と税の無駄遣いです。

また、市役所の移転により、老朽化のために建て替えが急がれる枚方消防署まで、本来考えられていた現在地近接地に建て替えられなくなり、所管圏域外に移転させてしまっては、枚方市駅周辺という人口密集地における消防・救急・救助体制まで弱体化させてしまうからです。

Q 賑わいや活性化はめざさないのですか？

ニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）を拡張するというプランは同じです。ただ、私の対案は、大規模災害に備える防災公園機能を重視するプランです。

公園を拡張整備することで様々なイベント等に活用される機能を強化することと、大規模災害が発生した際に市役所庁舎のインフラを活用しながら一時避難や市民への救護・情報提供拠点とする２つの機能を併せ持つこと（フェーズフリーの実現）が、税を用いる公益性を高くするからです。市の計画のようにタワマンや新たな民間商業ビル開発に道を開くのではなく、夏のクーリングシェルターの役割も担える各種支援拠点では、若者、子育て世代、高齢者等、多様な市民が快適に憩えるつながりの空間にすることもめざします。

Q 移転しなくても大規模災害に対応できる新庁舎になるのですか？

対応しなければならない大規模災害は、大地震と水害です。市が移転先とするもと北河内府民センター跡地（⑤街区）と現在地（④街区）では、地震対応上の違いはなく、水害対策についても、防水シャッターと設計の工夫で、充分、対応可能です。また、枚方市駅からの連絡通路（ペデストリアンデッキ）を活用することで、駅からのバリアフリー・アクセスの実現も可能となります。

奥野みか　ホームページ･フェイスブック
～皆さまのご意見･ご要望もお聞かせください～
https://okuno-mika.com
https://www.facebook.com/mika.okuno.338

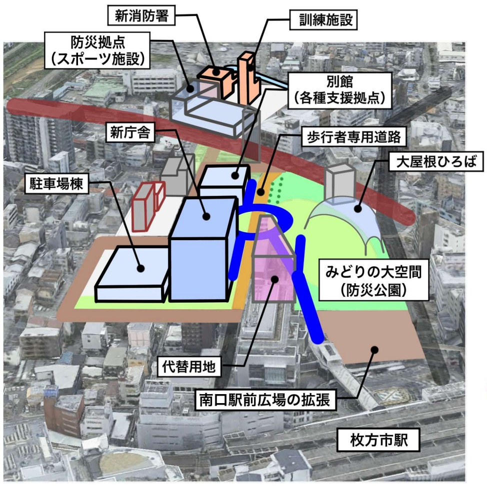
Q 枚方消防署の建替えも可能なのですか？

市庁舎を移転しなければ、現消防署の隣接地の市有地を活用して速やかに消防署と訓練施設を建設でき、消防・救急等を弱体化させることはありません。さらに、市有地との交換で税務署敷地等の国有地を取得できれば、消防署と連携して機能する防災拠点（兼スポーツ施設）等も整備することができます。

Q 事業実施に時間がかかったり、市の財政負担が重くなったりしませんか？

事業実施区域はほとんどが公有地です。手間ひまがかかる大きな土地区画整理事業などという事業手法を用いて手続コストと事業の具体化までの年数の長期化による事業費の増大化を招くより、1つ1つの個別事業を分割して優先順位の高いものから効率的・効果的に展開し、財政負担の後年度平準化を図ったほうが、速く、安く、確実に事業を実現させることができます。

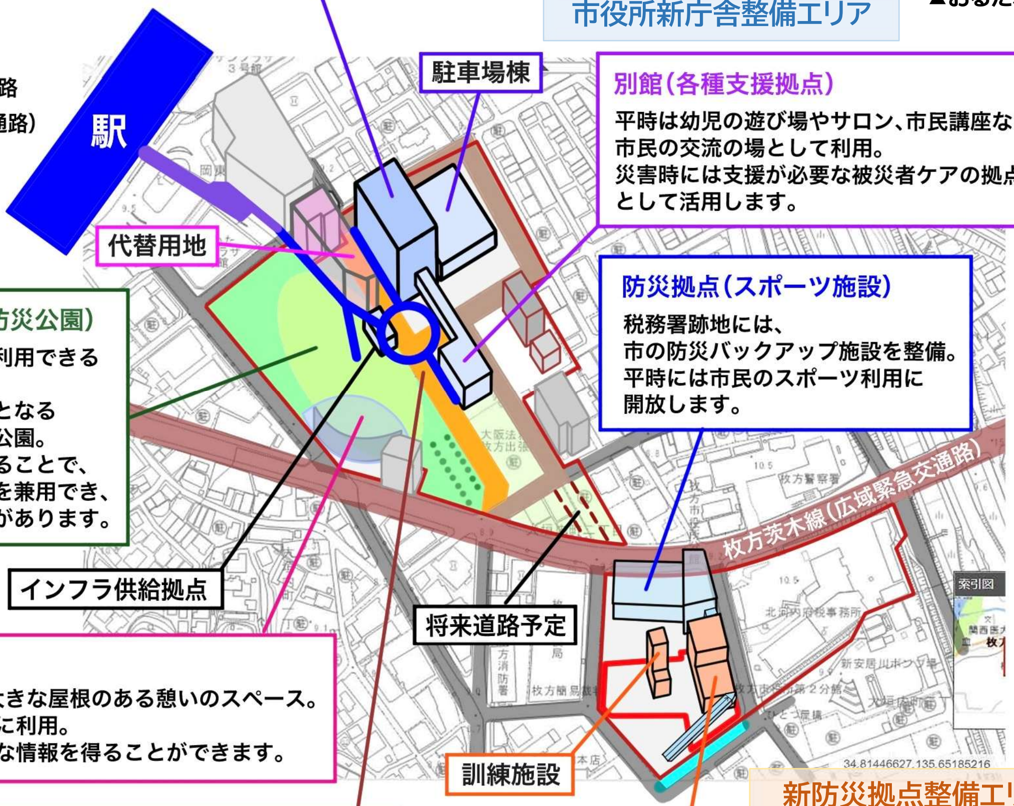
私の対案（「おるたなプラン」と名付けました）に関心をお持ちいただいた方はHPをご覧ください。



駅から見たボリュームイメージ図

平時も災害時も有効な、安全・安心の拠点整備　～おるたなプラン～

▲おるたなプラン



新庁舎
ペデストリアンデッキで駅と直結。
バリアフリーで誰でも使いやすい自治の拠点。
浸水5mに耐える堅牢な設計で、
災害時の地域の安全を守ります。

別館（各種支援拠点）
平時は幼児の遊び場やサロン、市民講座など、
市民の交流の場として利用。
災害時には支援が必要な被災者ケアの拠点
として活用します。

防災拠点（スポーツ施設）
税務署跡地には、
市の防災バックアップ施設を整備。
平時には市民のスポーツ利用に
開放します。

みどりの大空間（防災公園）
平時はイベントにも利用できる
憩いと交流の場。
災害時には防災公園となる
「フェーズフリー」の公園。
新庁舎と一体整備することで、
インフラや備蓄倉庫を兼用でき、
コストを抑える効果があります。

大屋根ひろば
雨、暑さ対策のために大きな屋根のある憩いのスペース。
災害時は一時避難場所に利用。
大型スクリーンで必要な情報を得ることができます。

歩行者専用道路
車両の通行を制限できる歩行者天国エリア。
緊急車両、許可された車両（キッチンカー、搬入車）は
通行可能。

新消防署（一時退避用屋上駐車場付き）
早期建替えを最優先し、併せて訓練施設を一体整備。
市所有地と医師会用地で**必要面積3,500㎡を確保。**

私の対案

【発行責任者】　奥野みか／枚方市東田宮１丁目／（中宮事務所）枚方市中宮西之町　　【E-mail】 hirakata@okuno-mika.com